

ロータリー報告書Vol. 1

川原 夢果

フレッチャー法律外交大学院 (The Fletcher School of Law and Diplomacy)

こんにちは、ボストンのフレッチャー法律外交大学院・修士課程に所属している川原夢果です！
10月の近況報告をさせていただきます。

授業開始から約1.5ヶ月が経ち、予習・復習の要領がやっと掴めてきました。今学期は以下の授業を受講しており、非常に充実した日々を送っています。



↑ニューイングランド地方特有の、収穫祭時期に開催されるフェアの1つTopsField Fairにて。

・ *International Organization* (国際組織)

国連やEUなどの国際組織がどのように機能しているのかを学んでいます。私の研究も移民政策とグローバルガバナンスに焦点を当てているため、個人的にも非常に興味深い授業内容となっています。ただ授業毎に膨大な量のリーディング課題が出されるため、授業内容の消化がなかなか大変です…。また、内容も徐々に理論から応用・実践的な内容に移行しているため、クラスメート達と勉強グループを立ち上げ、お互いに助け合いながら理解を深めています。先々週ほどから人道支援・平和維持活動の内容が続いており、来週のクラスでは私の専門でもある難民問題に触れるそうなので非常に楽しみです！

・ *Microeconomics* (ミクロ経済学)

経済必修科目。元々は経済入門クラスを受講するつもりだったのですが、経済科目適正試験に合格したため発展クラスであるMicroeconomicsの受講を決意しました。政策の経済的インパクト等を図るにも経済学は不可欠なため、基礎から発展までをしっかりと学ぶ良い機会となっています。経済学は学部時代に独学した程度なので授業についていけるか不安だったのですが、教授をはじめクラスメートにも恵まれ、皆と共に日々切磋琢磨しています。

・ *Quantitative Methods* (数量的手法)

秋学期前半のみ開講(先週が最終回でした)。ミクロ経済を受講するにあたり、履修することを強く勧められていたので受講したのですが、まさか高校数学という数IIIの内容を英語で学ぶことになるとは思っていませんでした…。ミクロ経済では非常に複雑な数式などが登場するため、それをどのように扱うのか、また統計にどのように応用できるのか等を学んでいます。もともと数学は得意ではないのでなかなか苦戦していたのですが、クラスメートの支えもあり無事Aを獲得できました！

・ *Research Methods* (研究手法)

秋学期後半のみ開講(先週が初回でした)。講座名の通り、研究手法を学ぶ、というものです。早速与えられたお題をテーマに研究計画書を書くという課題が与えられ、チームメートとともに試行錯誤

しながら納得のいく計画書を完成させることができました。教授からどのようなフィードバックが返ってくるのか非常に楽しみです。



↑ルームメイトとの引越し祝い

・ *Current Issues in Global Migration Policy* (国際的移民政策の現在の問題点)

難民統合政策を研究しているジェイコブセン教授による授業。フレッチャーに入学した理由の1つでもあるジェイコブセン教授から学ぶことができ、非常に嬉しく思っています。また、私のアカデミック・アドバイザーになっていただけることとなり、早くもフレッチャーに来て良かったと実感しています。また先日、現在世界で起きている移民問題を一つ取り上げ、論評を書くという興味深い課題が与えられました。

私は日本の入管問題をテーマに書き上げたのですが、なかなか評判が良くどこかのメディアにOp.Ed.として提出することを教授から勧められました。記事の提出・出版はなかなか骨の折れる過程ですが、何とか実現できるよう現在奮闘中です！

また最近、Praxis (人間の安全保障に特化したジャーナルを発行しているフレッチャーの学生団体) での活動が本格始動しました！現在は出版・編集チームにて論文の執筆者を募ったり、自身で論評を書いたりしています。また先日ウェブページも更新され、私の紹介文も掲載されました (<https://sites.tufts.edu/praxis/our-team/>)。移民問題や人道問題などを主に取り上げるジャーナルの出版に携わることができ非常にワクワクしています。



↑ピーボディ・エセックス博物館のライトボックス。影が展示室中に映し出され、非常に美しかったです。

さらに9月には、週末を利用してニューヨークへ行ってきました。ニューヨーク訪問の一番の目的であった国立9月11日記念館・博物館に行くこともでき、充実した週末を過ごすことができました。また10月はハロウィーンということもあり、ルームメイトとハロウィーンの街として有名なセーラムに足を伸ばしてみました。セーラムでは魔女狩りが行われたという歴史があることからか、クオリティの高い魔女の衣装をしている人が非常に多かったです。またセーラムには、ピーボディ・エセックス博物館という1799年に設立された非常に歴史ある博物館があり、せっかくなのでそこも訪れてみました。展示室の一つにライトボックスが設置されていたのですが、あまりの美しさに写真を取らずにはいられませんでした。

またセーラムには、ピーボディ・エセックス博物館という1799年に設立された非常に歴史ある博物館があり、せっかくなのでそこも訪れてみました。展示室の一つにライトボックスが設置されていたのですが、あまりの美しさに写真を取らずにはいられませんでした。

まだまだコロナが収まらず油断ならない日々が続きますが、日々少しでも多くのことを吸収できるよう頑張っていきたいです！



写真左：新ワールドトレードセンター

写真右：コロナから復活し多くの人で賑わうタイムズスクエア